

議 事 録

所管課 人権・市民相談課

会議の名称	平成28年度第2回富士見市男女共同参画社会確立協議会
開催日時	平成28年9月6日(火) 10時~12時
開催場所	市役所2階 第2会議室
出席者	○吉川 幸子 ○大澤 啓矢 ○岩田 広美 ○岡本 ゆり子 ○神保 文子 ○長谷川 孝子 ○山本 英司 ○鈴山 美佐江 ○芳野 慶子 ○黒須 さち子 ○松田 豊 (11名) ○事務局 大堀課長 水口副課長 瀬戸主事
欠席者	○吉野 喜一 ○奥住 慶子(2名)
傍聴者	なし
資料	・平成27年度進捗状況調査について(前回配布)
開 会	吉川会長あいさつ
報告事項	男女共同参画講演会について 平成28年8月28日に鶴瀬コミュニティセンターにて開催した講演会について事務局より報告。 受付人数140名を超え、多くの参加者が来場し成功裏に終了したことを報告。
議 事	協議事項 平成27年度進捗状況調査について(主要課題7、5、6の順に審議) 事務局より主要課題ごとに簡単に担当事業について説明。 【No.90】 委 員:平成26年度に引き続き、平成27年度も2名の防災女性リーダーが誕生したとあるが、男女共同参画の視点を持って活動をしているのか。 事務局:それぞれ地域に合った活動をしている。また、女性のパトロール隊員などもおり、性別を問わず能力に応じて出来ることをお願い

している。

委員：地域の防災活動に参加したところ、男性も女性も協力して炊き出し作業などを行っていた。少しずつ意識は変わってきている。

【No.16、96】

委員：評価が2となっている取り組みについてはどう考えているか。

事務局：No.16については、セミナー等で市政への女性の参画に関する取り組み計画中のため、評価を2とした。

No.96の活動拠点については、今年度公共施設に声を掛け、常設でチラシなどを配置してもらえるよう依頼している。西交流センター内のぴっぴの広場にはプラン冊子や子育てリーフなどが設置されており、少しずつ進めている。

委員：図書館への働きかけを再度して欲しい。

また、各公民館には大量のチラシが配置されており、常設しても埋もれてしまうという課題もある。目立つよう工夫を。

委員：女性のトイレ内などにチラシを貼っている施設もある。

事務局：11月のDV週間の際、中央図書館で関連図書の展示及び女子トイレ内に関連チラシなどを設置した実績がある。

専門員：各交流センター、公民館などにスペースがあれば、活用できないか、今年度の取り組みを第1歩として少しずつでも進めてほしい。

9月にWith You さいたまで行われる防災のセミナーなどは市の担当職員以外にも防災の担当者や審議会の委員も参加している。ぜひ委員の皆さんにも積極的に参加してほしい。

富士見市の防災リーダー養成講座にも、ぜひWith You さいたまの職員を講師として呼んで欲しい。

今後、政策提言講座なども開催されるので、利用を促進してほしい。また、With You さいたまの出前講座もあるのでぜひ利用してほしい。

【No.93】

事務局：地域で活動するNPOに関して、市内には26のNPO団体があり、福祉・社会教育・まちづくり分野の活動が多い。ホームページで活動報告もしている。

【No.83】

事務局：心身の健康、生きがいのづくりの推進について、平成27年度は3回各小学校体育館にてラジオ体操教室を実施。12月にも実施しており、夏に限らず実施している。

【No.17】

委員：市民人材バンクについて、男女共同参画のアドバイザーなどが入ると市政へ参画できる女性が増えていくのではないかと。

事務局：引き続き、生涯学習課と打合せていく。

委員：学校教育を通して男女共同参画意識を高めていく取り組みもある。

地域の防災訓練などは若い世代と高齢世代の間を中間世代の市民がうまく取り持ってくれている。

各小学校に配布しているジェンダーリーフレットの効果も期待している。

【No.70】

委員：薬物乱用防止の内容についてはどうか。

委員：高学年向けの教室などで啓発している。

【No.81】

委員：食育となると男性の参加が少ないのでは

委員：男性のための料理教室などがあるが、ひとりで継続して参加することが難しい。妻の側が夫の成長を待つことも大切ではないか。

【その他の意見】

委員：LGBTについて市の取り組みはどうか。

委員：LGBTに関しては、昨年度は職員研修を実施した。渋谷区のような条例の制定は、何が基準となるか、どのように周知していくか吟味することが重要であり、前向きに考えている。LGBT当事者の考え方というものも尊重していく必要がある。

専門員：一般的に、トランスジェンダーは理解できても、同性愛者への理解はなかなか進まないのが現状である。

委員：多様な性についても、まずは大人がその中身を知らないと子どもに教えられない。学校の先生などは、子ども達に聞かれれば答えられる程度には知っている。

委員：No.84に関連して、リベンジポルノなどの問題はどうか。

委員：非行防止教室の中で保護者と子どもたちに向けてインターネットトラブルなどについても啓発している。ただ、インターネットになると保護者でもその中身が見えてこないのが現状である。

事務局：会議で挙げていただいた意見をもとに、10月中に年次報告書を作成し、出来上がり次第送付するので確認をお願いしたい。

本年9月末で2年の任期が終了する。ご協力いただいたことに感謝する。

閉 会

副会長 あいさつ